

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ワットマン

コード番号 9927 URL <http://www.wattmann.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 一郷

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理総務グループ グループ長 (氏名) 渡邊 匡 TEL 045-959-1100

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	683	△8.5	21	4.6	23	△12.5	△445	—
25年3月期第1四半期	747	△0.4	20	△72.3	26	△66.8	14	△81.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△40.75	—
25年3月期第1四半期	1.30	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,813	2,029	72.1
25年3月期	3,380	2,500	74.0

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 2,029百万円 25年3月期 2,500百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	1,340	△8.5	30	12.8	37	3.8	△427	—	△39.03
通期	2,700	△8.0	150	0.8	160	△5.1	△260	—	△23.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	11,368,541 株	25年3月期	11,368,541 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	430,266 株	25年3月期	430,266 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	10,938,275 株	25年3月期1Q	10,938,630 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
【第1四半期累計期間】	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10
5. 補足情報	11
(1) 仕入及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要や昨年末の政権交代に伴う金融緩和政策と円安・株高の進行に対する期待感から、一部に明るさを取り戻しているものの、欧州における債務危機、中国をはじめ新興国における経済成長の鈍化の影響等により、景気は緩やかな回復にとどまりました。個人消費についても、平成26年4月に予定されている消費税増税による可処分所得減少に対する不安もあり、低調に推移する等、小売業界において厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもと、当社は当事業年度を事業拡大開始期間と位置付けており、成長のための体制づくりとマネジメント力の強化を積極的にすすめてまいりました。

また平成25年5月31日をもって当社と株式会社ハードオフコーポレーションのフランチャイズ契約を解消し平成25年6月1日、当社は新ブランド「Super Recycle Shop WATTMANN」（スーパーリサイクルショップワットマン）を立ち上げました。新ブランドでは買取・販売する商品種類の拡充等による更なるお客様サービスの向上、コストダウンによる経営効率の向上、及び新規出店等による企業成長を目指しております。

営業政策面では将来の成長に向けて、売筋ジャンルの強化、積極的な買取と査定精緻化を進め、良品在庫の増大に努めてまいりました。また、早期売価変更と売場への継続的な商品供給を行い商品鮮度を維持するとともに、お客様目線の売場づくりを進め、お客様の購買意欲を高め、売上高の増加と売上総利益額・率の向上に努めてまいりました。

店舗政策面では、当第1四半期会計期間において、ワットマンテック湘南台店、ワットマンテック座間店、ワットマンテック綾瀬店を開店し12事業所25店舗となりました。

当第1四半期累計期間の売上高は、前年同四半期と比べ63百万円（8.5%）減収の6億83百万円となり、既存店では前年同四半期と比べ1.6%減収となりました。これは閉店した店舗の影響と、収益改善のためゲームの取扱を政策的に抑制した事により減収となったものです。商品カテゴリー別の売上高では、店舗減少により電化製品等が前年同四半期と比べ21百万円（15.3%）減収の1億16百万円、服飾が12百万円（4.8%）減収の2億37百万円、その他が3百万円（4.3%）減収の66百万円となりました。パッケージメディア（本・CD/DVD・ゲーム）は政策的にゲームの取扱を抑制し27百万円（9.5%）減収の2億62百万円となりました。

なお、前期に閉店した旧上郷店、旧川崎大師店及び旧北久里浜店以外を既存店としております。

売上総利益は、全社の売上総利益率が68.7%と前年同四半期に比べ5.0%増加したものの、店舗減少等により売上が減少したため、前年同四半期と比べ6百万円（1.3%）減益の4億70百万円となりました。商品カテゴリー別の売上総利益は、電化製品等が前年同四半期と比べ11百万円（12.5%）減益の77百万円、服飾が6百万円（3.9%）減益の1億72百万円、パッケージメディアが13百万円（8.7%）増益の1億69百万円、その他が1百万円（3.4%）減益の49百万円となりました。

販売費及び一般管理費においては、フランチャイズ契約解除に伴い店舗改装費用、広告宣伝費用、消耗品費等が増加があったものの、店舗減少に伴う人件費、地代家賃等の減少により、前年同四半期と比べ7百万円（1.6%）減少の4億49百万円となりました。

この結果、営業利益は、前年同四半期と比べ0.9百万円（4.6%）増益の21百万円、経常利益は、前年同四半期と比べ3百万円（12.5%）減益の23百万円となりました。契約解約損4億50百万円および固定資産除売却損16百万円等を計上した結果、前年同四半期と比べ4億59百万円減益の四半期純損失4億45百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前事業年度末に比べて3億60百万円減少し、12億45百万円となりました。これは主に現金及び預金が3億44百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末に比べて2億6百万円減少し、15億68百万円となりました。これは土地を始めとする有形固定資産が1億75百万円減少、敷金及び保証金が25百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ5億66百万円減少し、28億13百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前事業年度末に比べて63百万円減少し、5億2百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が30百万円減少、未払法人税等が21百万円減少、賞与引当金が11百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べて32百万円減少し、2億82百万円となりました。これは主に、長期借入金9百万円減少、長期預り金が24百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ95百万円減少し、7億84百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前事業年度末に比べ4億71百万円減少し、20億29百万円となりました。これは主に、土地再評価評価差額金が5億76百万円増加、利益剰余金が10億44百万円減少したことによります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年5月13日付の「平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて発表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○税金費用の計算

当会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,143,330	798,361
売掛金	18,767	16,932
商品	350,379	341,687
その他	92,753	88,022
流動資産合計	1,605,230	1,245,004
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	361,910	374,012
土地	571,202	382,457
その他（純額）	56,165	57,594
有形固定資産合計	989,277	814,064
無形固定資産		
	23,425	23,641
投資その他の資産		
敷金及び保証金	605,770	580,724
投資有価証券	109,370	105,915
その他	47,250	44,366
投資その他の資産合計	762,390	731,006
固定資産合計	1,775,093	1,568,712
資産合計	3,380,324	2,813,716
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,518	10,377
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	124,597	94,063
未払法人税等	25,877	4,664
賞与引当金	16,000	4,500
その他	187,416	188,440
流動負債合計	565,409	502,045
固定負債		
長期借入金	149,415	139,965
退職給付引当金	4,498	5,781
その他	160,378	136,368
固定負債合計	314,291	282,115
負債合計	879,701	784,160

（単位：千円）

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	1,681,733	1,681,733
利益剰余金	1,048,896	4,503
自己株式	△57,250	△57,250
株主資本合計	3,173,380	2,128,987
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△250	△3,705
土地再評価差額金	△672,506	△95,726
評価・換算差額等合計	△672,757	△99,431
純資産合計	2,500,623	2,029,556
負債純資産合計	3,380,324	2,813,716

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	747,680	683,874
売上原価	271,177	213,711
売上総利益	476,502	470,162
販売費及び一般管理費	456,326	449,058
営業利益	20,176	21,104
営業外収益		
受取利息	1,596	1,404
受取配当金	5,836	1,260
受取手数料	2,171	1,992
雑収入	1,118	1,667
営業外収益合計	10,723	6,324
営業外費用		
支払利息	2,205	1,293
社債利息	992	920
雑損失	1,094	1,094
その他	67	887
営業外費用合計	4,359	4,195
経常利益	26,539	23,233
特別損失		
固定資産除売却損	943	16,369
店舗閉鎖損失	—	700
契約解約損	—	450,000
特別損失合計	943	467,069
税引前四半期純利益	25,596	△443,835
法人税等	11,363	1,900
四半期純利益	14,233	△445,735

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

（4）（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

当社は単一のセグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間において、土地の再評価に関する法律（平成10年3月31日公布法律第34号）による再評価を行った土地を売却し、当該土地にかかる土地再評価差額金の取崩を行いました。この影響により利益剰余金が576,780千円減少いたしました。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 仕入及び販売の状況

1. 商品仕入実績

当第1四半期累計期間における商品仕入実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額（千円）	構成比（%）	前年同期比（%）
リユース事業	電化製品等	35,210	17.2	81.9
	服飾等	63,130	30.8	101.4
	パッケージメディア	93,401	45.5	59.0
	その他	13,410	6.5	89.2
合計		205,152	100.0	73.6

- (注) 1 金額は仕入価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税は含まれておりません。
 3 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。

2. 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額（千円）	構成比（%）	前年同期比（%）
リユース事業	電化製品等	116,674	17.1	84.7
	服飾等	237,361	34.7	95.2
	パッケージメディア	262,964	38.4	90.5
	その他	66,874	9.8	95.7
合計		683,874	100.0	91.5

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税は含まれておりません。
 3 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。